

ワンポイントガイド

叶神社(西叶神社)



- ・源氏の再興を祈願して勧請したもので、平家が滅亡し願いが叶ったことで「叶明神」の称号が与えられました。社殿を取り巻く総数230を超える彫刻には、当時の日本には渡来していなかった花や鳥も。棟柱を担ぐ力士像もあります。
- ・社務所玄関欄間壁には「司馬温公」の※鏝絵(石川善吉・作)があります。



浦賀の廻船問屋(萬屋清左衛門家)

- ・西浦賀で9代、250年わたり居住している。旧萬屋(宮井)清左衛門家。



西渡船場(浦賀の渡し)

- ・ポンポン船の愛称で親しまれている渡し船は、浦賀に奉行所が置かれて間もない享保10年(1725)ころから記録に登場しています。東西浦賀の人々が行き来するための生活路として、約300年にわたる長い歴史を持っています。



陸軍棧橋(浦賀港引揚記念の碑)

- ・L字型の棧橋。太平洋戦争終了後、南方や中国からの引揚者約65万人が懐かしい日本の地に第一歩をしるした所です。引き揚げの歴史を後世に伝える為に平成18年10月に記念碑が設置されています。



浦賀奉行所跡・川間町会館・鎮西八郎為朝神社

- ・浦賀奉行所は、享保5年(1720年)下田から浦賀に奉行所が移転となり、慶応4年(1868年)まで約150年間続いた奉行所です。現在は奉行所前の「石橋」と堀の石垣のみが残っています。



川間町会館の2階軒下に鳳凰、1階軒下に松竹梅と鶴亀の※鏝絵(石川梅尾・作)が描かれています。

鎮西八郎為朝神社は、寛政12年(1800年)、地元漁民が鎮西八郎・源為朝の木造を海から引き上げて祀った神社です。

※ 浦賀の鏝絵(こてえ)



西叶神社の鏝絵



川間町会館の鏝絵

左官職人が土蔵などの壁の仕上げに鏝(こて)と漆喰(しっくい)で作り上げたレリーフを鏝絵(こてえ)と呼び、江戸時代後期から数多くつくられ、浦賀にも数点が残されています。川間(西浦賀)に住んでいた石川善吉は「三浦の善吉」として「伊豆の長八(入江長八)」とともに、全国的に知られる漆喰細工の名人でした。

(石川梅尾は、石川善吉の子)

ワンポイントガイド

千代ヶ崎砲台跡



- ・ 国史跡指定・平成27年(2015)3月10日
- ・ 明治28年(1895)に陸軍によって建設された西洋式の砲台。
- ・ 目的は外国船から首都東京を守る為に作られた砲台跡です。
- ・ 28cm榴弾砲を6門配備していました。
- ・ レンガやコンクリートを使用し、当時の最先端の技術で、地下室が造られています。
- ・ 調査によってレンガの壁は厚さ約1.5メートル、天井の厚さは約2メートルありました。

浦賀燈明堂・燈明堂海岸



- ・ 燈明堂は浦賀湾の西にあり、港に出入りする船にとって灯台の役目をしてました。慶安元年(1648)幕府の命により造られ、明治5年(1872)に廃止になるまでの220年間、一日も休まず航路の安全を守ってきました。
- ・ 昭和63年(1988)に、残った石垣の上に現在の建物が復元されています。

ペリー公園・ペリー記念館



- ・ 今年はペリー来航170周年記念の年。
- ・ 嘉永6年(1853年)7月8日浦賀沖に4隻の黒船で来航。アメリカ大統領の国書を持参して開国を迫る。
- ・ 正面には『北米合衆国水師提監伯理上陸記念碑』(ペリー上陸記念碑)がある。
- ・ 公園前の久里浜海岸からペリーが上陸したとされる。

くりはま花の国公園



- ・ 広さ約58.3ha。横須賀市立の公園、春はポピーの花、秋はコスモス100万本の見事な花畑。
- ・ BBQ場、レストラン、ハーブ園、足湯、ボルタリング場、ゴジラ像(滑り台)がある冒険ランド広場、樹木園、展望台など施設は充実している。